

Ver 1.0

高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)制度に基づく  
温室効果ガス吸収プロジェクト申請書

プロジェクト名	高知県大豊町ゆとりすとの森間伐推進プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	高知県大豊町長 岩崎 憲郎 

提出日 2010年 7月29日

受理日           年 月 日

最終版提出日           年 月 日

## A: 参加者情報

プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	高知県大豊町 (コウチケンオオトヨチョウ)		
住所	〒789-0392 高知県長岡郡大豊町高須231番地		
代表者氏名	大豊町長 岩崎 憲郎	担当者氏名	下村 高史
担当者所属	産業建設課	担当者役職	主幹
担当者 E-mail	t-shimomura@town.otoyo.lg.jp	担当者電話番号	0887-72-1031
プロジェクトでの役割	プロジェクト申請、モニタリング報告、クレジット取得、QAQC 体制の整備等		
プロジェクト事業者			
事業者名(フリガナ)	大豊町森林組合 (オオトヨチョウシンリンクミアイ)		
住所	〒789-0311 高知県長岡郡大豊町杉 1079 番地 1		
代表者氏名	代表理事組合長 稲田 繁治	担当者氏名	中平 照久
担当者所属	業務課	担当者役職	造林担当
担当者 E-mail	ootoyo.sinrin@galaxy.ocn.ne.jp	担当者電話番号	0887-72-0123
プロジェクトでの役割	森林施業(間伐)、モニタリング、教育訓練の実施		
プロジェクト参加者			
事業者名(フリガナ)	なし		
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
高知県オフセット・クレジット(高知県 J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	高知県大豊町 (コウチケンオオトヨチョウ)		
オフセット・クレジット (高知県 J-VER)口座 番号 6	未取得		
ダブルカウントの防止措置を講 ずる事業者	大豊町		
公的な報告・公表制度	なし		
自主的な報告・公表制度	なし		

## B: プロジェクト活動の概要

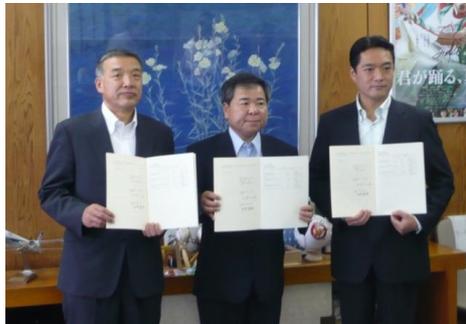
	項目
B.1 プロジェクト活動	<b>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</b> <b>(1) 目的</b> 本事業では、採算性の低い大豊町内の森林の整備を加速化させることで、二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の吸収量を増大させることを目的とします。また、CO <sub>2</sub> 吸収量を将来的に金銭価値化(クレジット化)させることにより、森林整備にかかる費用の一部を賄うことで、森林整備及び木材搬出のためのコスト負担を軽減し、間伐の促進を図っていきます。 また、計画的な森林整備によって林業従事者の就労の場を確保し、雇用の安定化と担い手の育成・確保など、森林を取り巻く林業の再生を図る目的も持ち合わせています。 <b>(2) 内容</b> 本事業は、高知県長岡郡大豊町に位置する町有林を活用したプロジェクトです。 このプロジェクトを実施する背景として、林業の採算性の低下が挙げられます。森林の整備は多額の経費が必要で、林業の投資回収年数も極めて長いため、保育段階における間伐では収益が得られないばかりか、間伐経費から造林事業等の補助金受給額を差し引いた森林所有者負担が必要です。 当プロジェクトでは、高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に取り組むことで資金を調達し、町の財政負担を軽減しつつ、森林整備の推進を図ることが可能となります。さらに森林の公益性を高めるとともに、生物多様性の増大が期待されます。 また、森林整備が加速し、森林資源の循環が図れることで安定的な雇用の創出や、山村地域での人口減の抑制・新規定着など、山村地域の産業振興が推進される効果が期待されます。更に、当プロジェクト実施により林業が採算の取れる産業として位置付けられ、町内の民有林における森林整備のモデルとなることも期待されます。
	<b>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</b> <b>(1) 背景</b> 大豊町の総面積は31,494haあり、このうち森林面積が27,716haと88%を森林が占めています。また、民有林の面積は、25,441haで、71%にあたる18,003haが人工林となっており、森林資源の豊富な町です。 しかしながら、森林・林業・木材産業を取り巻く環境は極めて厳しく、木材価格の低迷や森林所有者の森林整備に対する意欲の減退、林業担い手の減少などにより、森林整備の遅れが問題となっています。 <b>(2) 大豊町の取組の現状</b> <b>ア 町有林の整備の推進</b> 木材価格が低迷する一方で、経営コストが増加するなど、林業経営の採算性が著しく悪

化する中で、小規模に分散している森林の所有形態や高齢化・減少している林業の担い手の問題などが、林業経営による森林管理を阻害している大きな要因ともなっています。

大豊町では、こういった現状の中でも、町有林の森林整備を進め、森林の多面的機能の発揮を目指し、また、他の民有林のモデルとなるような森づくりを行っています。

### イ 「協働の森づくり事業」の推進

大豊町では、平成19年6月14日に、企業(三菱 UFJ 信託銀行株式会社)、県の協力により「三菱 UFJ 信託・『想い』をつなぐ森パートナーズ協定」を締結し、よりよい環境づくりのため、企業からの協賛を得て、町有林を対象とした手入れの行き届かない森林の再生のための森林整備や地域住民との交流事業を、企業と手を携えて取り組んでいます。なお、この協定森林は、当プロジェクトの対象森林となっております。(別添資料2)



協働の森パートナーズ協定



CSR 活動と地域交流

## B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

### (1) プロジェクト活動の流れ

プロジェクト対象地(プロジェクト実施地)の面積は 22.08ha あり、2007 年度に間伐を実施した箇所です。プロジェクト活動は保育間伐を実施しており、今後においても、概ね 10 年間隔で計画的に森林施業を実施することで、適正な管理を行います。

### (2) 吸収の達成手段

森林吸収を増大させるためには、人為的な間伐施業を行います。その方法、間伐率及び区分については次のとおりです。

#### ア 間伐方法

単木間伐により実施

#### イ 間伐率

本数間伐率で 30%もしくは、40%

#### ウ 公益的機能別施業森林の区域(ゾーニング)

大豊町の森林は、森林の多面的な機能を発揮するため3種類に区分され、それぞれの区分ごとに適切な森林の整備を進めています。

	<p>(ア) 資源循環林と水土保持林(活用型)  木材生産に適した森林ゾーンとして、生産に伴う適切な施業を効率的に行い、森林の多様な機能が発揮できる森林として管理します。</p> <p>(イ) 水土保持林(保全型)  人工林は強度に間伐を進め、針葉樹と広葉樹との混合林化を促進していくこととします。天然林は、必要に応じて手を加えることで、適切に保全管理します。</p> <p>(エ) 森林と人との共生林  県民が憩え楽しむ場の提供を行う森林で、目的に応じて適切に保全管理する。</p> <p>なお、当プロジェクトにおいて整備した箇所については、水土保持林(活用型・保全型)です。</p> <p><b>(3) 森林施業計画の更新</b>  当プロジェクト対象森林においては、持続的で適正な森林の管理を維持するため、プロジェクト期間終了後 10 年の 2023 年 3 月 31 日以降まで森林施業計画を更新していくこととしています。</p>	
B.2 採用技術	<p><b>プロジェクトで使用する設備・機器等</b></p> <p>【間伐面積測定】  機器名称：モバイルマッパー  機器メーカー名：Thales Navigation 社(アメリカ)  導入年月：2007.2</p> <p>機器名称：トゥルーパルス 360B  機器メーカー名：Laser Technology 社(アメリカ)  導入年月：2010.7</p> <p>【樹高測定】  機器名称：トゥルーパルス 360B  機器メーカー名：Laser Technology 社(アメリカ)  導入年月：2010.7</p> <p>(資料5)</p>	
B.3 プロジェクト	実施事業所名	大豊町森林組合
	住所	〒789-0311 高知県長岡郡大豊町杉 1079 番地 1

実施場所	森林所在地	<p>森林施業計画名：大豊18地区  認定番号：18-1(変1-22) (資料2-1)  団地要件対象森林面積：406.81ha</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">団地名:大豊18地区</th> <th colspan="3">間伐施業の計画</th> </tr> <tr> <th>施業 NO</th> <th>所在地</th> <th>樹種</th> <th>林齢</th> <th>面積 (ha)</th> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34</td> <td>佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦</td> <td>ヒノキ</td> <td>46</td> <td>2.10</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>36</td> <td>佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦</td> <td>ヒノキ</td> <td>45</td> <td>6.19</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>38</td> <td>佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦</td> <td>ヒノキ</td> <td>44</td> <td>2.85</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>42</td> <td>佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦</td> <td>スギ</td> <td>45</td> <td>3.69</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>43</td> <td>佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦</td> <td>スギ</td> <td>27</td> <td>0.48</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>45</td> <td>佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦</td> <td>ヒノキ</td> <td>27</td> <td>0.05</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>101</td> <td>梶ヶ内字カナアノ 1189-20</td> <td>ヒノキ</td> <td>20</td> <td>2.76</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>102</td> <td>梶ヶ内字カナアノ 1189-20</td> <td>スギ</td> <td>20</td> <td>3.96</td> <td>2007</td> <td>切捨間伐</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>22.08ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>プロジェクト実施地のみ抜粋</p>	団地名:大豊18地区				間伐施業の計画			施業 NO	所在地	樹種	林齢	面積 (ha)	時期	内容	34	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	46	2.10	2007	切捨間伐	36	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	45	6.19	2007	切捨間伐	38	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	44	2.85	2007	切捨間伐	42	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	スギ	45	3.69	2007	切捨間伐	43	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	スギ	27	0.48	2007	切捨間伐	45	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	27	0.05	2007	切捨間伐	101	梶ヶ内字カナアノ 1189-20	ヒノキ	20	2.76	2007	切捨間伐	102	梶ヶ内字カナアノ 1189-20	スギ	20	3.96	2007	切捨間伐	計				22.08ha		
	団地名:大豊18地区				間伐施業の計画																																																																										
施業 NO	所在地	樹種	林齢	面積 (ha)	時期	内容																																																																									
34	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	46	2.10	2007	切捨間伐																																																																									
36	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	45	6.19	2007	切捨間伐																																																																									
38	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	44	2.85	2007	切捨間伐																																																																									
42	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	スギ	45	3.69	2007	切捨間伐																																																																									
43	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	スギ	27	0.48	2007	切捨間伐																																																																									
45	佐賀山字佛岳山 1250-1 ㊦	ヒノキ	27	0.05	2007	切捨間伐																																																																									
101	梶ヶ内字カナアノ 1189-20	ヒノキ	20	2.76	2007	切捨間伐																																																																									
102	梶ヶ内字カナアノ 1189-20	スギ	20	3.96	2007	切捨間伐																																																																									
計				22.08ha																																																																											
	概要	<p><b>概要及びプロジェクトの範囲</b></p> <p>当プロジェクトは、プロジェクト代表事業者である大豊町の所有する森林(町有林)であり、森林施業計画の認定を受けている森林です。</p> <p>この森林施業計画の対象森林のうち伐採計画があり、「協働の森づくり事業」の協定森林の伐採(間伐)計画に該当していない箇所を、プロジェクト対象地(プロジェクト実施地)としています。</p>																																																																													

## B: プロジェクト活動の概要

B.4 プロジェクト期間		2008年4月1日～2013年3月31日(5年0ヶ月)					
B.5 クレジット期間 1		2008年4月1日～2013年3月31日					
B.6 想定排出削減 ・吸収量 2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	161	161	161	161	161	808
B.7 モニタリング報 告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに)	受給している / 申請中 / 検討中 / <span style="border: 1px solid black;">受給しない</span>					
	補助事業名称						
	補助金額 (申請額含む)						
	補助対象期間						
	補助金を受給している ことを証明する書類						
B.9 他制度への申 請 3	申請の有無 (いずれかに)	有 / 無					
	制度名	プロジェクト実施地においては、保安林改良工事により、 間伐施業を実施しています。 (資料2 - 2)					
備考	<p>プロジェクト遂行に影響を及ぼすリスクとして豪雨、台風等に伴う風倒、土砂崩れ、ナラタケ病、ニホンキバチ、ニホンジカなどによる病虫獣害、人為的、自然発生的山林火災が考えられます。</p> <p>対処法としては、自然災害においては森林国営保険による填補、その他については自力の植栽を実施することで、災害に対するリスクに備えることとしています。</p> <p>また、当森林施業計画の一部は、高知県の環境先進企業との協働の森づくり事業における協定森林(高知県CO2吸収認証制度の対象森林)となっていますが、当プロジェクト実施地から除外し、ダブルカウントを回避しています。</p>						

## C:方法論の適用

C.1 ポジティブリストの適格性基準との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001</u>								
	条件	説明 1								
	C.1.3 条件1	当プロジェクト実施地はすべて森林施業計画の認定を受けていることから森林法第5条に定める森林です。								
	C.1.3 条件2	<p>当該森林は、全て森林施業計画森林であり、すべて大豊町有林です。また、プロジェクト対象地において、クレジット発行対象期間内に当該森林の転用、主伐は計画されていません。</p> <p>さらに、当該プロジェクトは、2007年4月1日以降の森林施業計画に基づき施業(間伐)が計画されています。</p>								
	C.1.4 条件3	<p>別添森林施業計画書(写)(資料2-1)に添付されている森林施業計画認定書のとおり大豊町長から認定を受けています。また、クレジット期間終了後10年間、適切に森林施業計画を更新します。</p> <p>森林施業計画名 : 大豊18地区                  認定番号 : 18-1(変1-22)                  期間 : 2006年11月1日~2011年10月31日                  認定日 : 2006年10月5日                  変更認定日 : 2010年4月10日</p>								
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM <u>001</u>								
	方法論名称	森林経営活動によるCO <sub>2</sub> 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論								
C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">準拠の説明</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する	
準拠の説明	説明									
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない										
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない										
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する										

		(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)															
	C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	<table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリングパラメータ</th> <th>モニタリングパターン</th> <th>選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td rowspan="2">モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -4 [活動量のモニタリング] パターン2のとおり実測(森林測量)に基づく方法で実施します。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td rowspan="2">モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -4 [各係数のモニタリング] パターン2のとおり「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づき同ガイドライン-26.27の係数を使用します。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td><input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等)</td> <td rowspan="2">モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -5 &lt; 収穫予想表 &gt; パターン2により平成19年6月29日付け、19高森推第225号で通知のあった、高知県森林部(現高知県林業振興・環境部)で定められた長伐期森林施業指針のデータとして高知県民有林収穫表(スギ・ヒノキ)(資料4)を使用します。</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)</td> </tr> </tbody> </table>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS	モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -4 [活動量のモニタリング] パターン2のとおり実測(森林測量)に基づく方法で実施します。	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測	モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -4 [各係数のモニタリング] パターン2のとおり「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づき同ガイドライン-26.27の係数を使用します。	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等)	モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -5 < 収穫予想表 > パターン2により平成19年6月29日付け、19高森推第225号で通知のあった、高知県森林部(現高知県林業振興・環境部)で定められた長伐期森林施業指針のデータとして高知県民有林収穫表(スギ・ヒノキ)(資料4)を使用します。	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)
モニタリングパラメータ		モニタリングパターン	選択の理由														
活動量		<input type="checkbox"/> 森林 GIS	モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -4 [活動量のモニタリング] パターン2のとおり実測(森林測量)に基づく方法で実施します。														
		<input checked="" type="checkbox"/> 実測															
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測	モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -4 [各係数のモニタリング] パターン2のとおり「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づき同ガイドライン-26.27の係数を使用します。															
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等																
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等)	モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用) Ver.1.6 の -5 < 収穫予想表 > パターン2により平成19年6月29日付け、19高森推第225号で通知のあった、高知県森林部(現高知県林業振興・環境部)で定められた長伐期森林施業指針のデータとして高知県民有林収穫表(スギ・ヒノキ)(資料4)を使用します。															
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)																
C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)	C.4.1 ベースラインシナリオの特定	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>このプロジェクトが実施されなかった場合、この制度による資金調達が得られないばかりか、大豊町有林の今後の森林整備(作業道開設・間伐施業等)について、財政難から森林の整備に係る多額の経費を予算化することができず、森林整備の遅れが発生する状態となります。</p>															

		(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)	
		データの信頼性・入手可能性	説明
		<input type="checkbox"/> 低い	
		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない	
		(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)	
		施業計画通りに実施しない可能性	説明
	<input type="checkbox"/> 可能性がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない		
	(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)		
	転用の可能性	説明	
<input type="checkbox"/> 可能性がある			
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない			
C.4.2BLS に関連した温室効果ガス排出源・吸収源の特定	(温室効果ガス排出源・吸収源)		
	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	
	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス	
	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし	
	リーケージの種類	説明	
	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	なし	
	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	なし	

		(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)						
		<table border="1"> <tr> <td>温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	<p>(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)</p> <table border="1"> <tr> <td>不確かなデータの使用</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </table>	不確かなデータの使用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
	不確かなデータの使用	説明						
<input type="checkbox"/> 使用する								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	<p>(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)</p> <table border="1"> <tr> <td>モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>存在する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>存在しない</td> <td></td> </tr> </table>	モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 備考		<p>(モニタリングポイントの設定方法に関する記述)</p> <p>当プロジェクトにおいては、モニタリングガイドラインに準拠した4か所を、地位級のモニタリングポイントとして設定しています。</p> <p>1 モニタリングポイントS1、S2【佐賀山字佛岳山 1250-1 林】</p> <p>モニタリングポイントS1、S2を設定する森林は、概ね北向斜面であり、S1については、樹種はヒノキ、面積は11.19haあり、S2については、樹種はスギ、面積は4.17haあります。それぞれ同一斜面であり、S1については、その区域の中腹に1箇所、S2については、中腹及び上部区域に作業道が隣接していることからプロットがとれないために、下部に1箇所設定しています。(資料3 - 3 図面1)</p> <p>2 モニタリングポイントK1、K2【梶ヶ内字カナアノ 1189-20】</p> <p>モニタリングポイント K1、K2を設定する森林は、概ね北向斜面であり、K1については、樹種はヒノキ、面積は2.76haあり、K2については、樹種はスギ、面積は3.96haあります。それぞれ同一斜面であることからその区域の中腹に1箇所ずつ設定しています。(資料3 - 3 図面2)</p>						

D:その他	
D.1 関連する許認可及び関連法令	<p>当該プロジェクト地については、森林法第5条に規定された森林です。関連する許認可及び関係法令については、保安林に該当する箇所があります。</p> <p>森林施業計画名：大豊18地区  認定番号：18-1(変1-22)  期間：2006年11月1日～2011年10月31日</p> <p>・一部が水源涵養保安林、土砂流出防備保安林に指定されています。</p> <p>プロジェクト実施地は、高知県の保安林改良工事で間伐を行った箇所です。</p>
D.2 ステークホルダー（森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等）のコメント	<p>大豊町では、すべての町有林について大豊町森林組合と管理委託契約を締結することで、間伐を始めとする森林整備を進めており、今後においても引き続き森林整備を行っていく予定です。</p> <p>管理及び森林整備費用については、国費間伐補助金、各種助成等及び搬出間伐による間伐材の売却益、協賛企業の協賛金、さらには、当プロジェクトによるクレジット収入により、町の一般財源に極力負担をかけないよう進めていきます。</p> <p>当該プロジェクトは、認定を受けた森林施業計画のうち、保安林改良工事により間伐施業を行った箇所での申請であり、プロジェクト対象地はすべて大豊町有林となっています。</p> <p>また、森林施業計画を更新するとともに、2022年度まで継続して森林国営保険に加入することにより持続性を担保します。</p>
D.3 その他特記事項	なし